Ｎｏ．１　災害時難病支援プロジェクト　２００５．１１．２８　１９：００～　患者班

インスリンをどうやって手に入れるか？
医学的な知識は？（インスリンの使い方、食事、針の使い方、互換性）

心　・　医療機関にわかってもらえるか？
配　・　血糖値のコントロールが乱れるのでは？
な　・　子どものケア（家族）
こ　・　インスリンＭＡＰ
と　・　病院までのＭＡＰ　本当に薬がもらえるの？

★医学的にインスリンがないと
- １日もたない人もいる。３日もつ人もいる。
- 体重あたり１単位→とにかく打たないといけない
- 手に入るまで３日？インスリンをやめたら死ぬ！！
- ３日分はもっていればいいかも
- 神戸で１週間なら、準備があればどれくらいか？
- 針は何回使っても大丈夫！！（災害時だけ）
- １週間薬がない（医療が得られない）→大変な災害
- 孤立したところ（村落）には届かなくなる。

- 夜は枕元にすぐに手に届くところに（枕元セット）
- 測定キット（低血糖の心配、高血糖の心配）
- 災害時は高めに調整する（どんどん食べる）
- 測定用のチップなど（あってラッキーというくらい）
- 必須　食べ物 と インスリン
- 夜中とか全然持っていないときは不安
- ３日間はあるが・・・遠い所にいる・・・
- 非常用の食べ物（日持ちしない）が不安
  キャラメル・チョコレート
- 避難場所を自分で探せるといいが・・・
- 食べ物は日持ちしてかさばらないもの
- １日後は炊き出ししている。
- 本人確認→医師はいいが、薬局は？
- 特定のＩＤカード（行政によるオスミツキ）
- インスリンを出すことに慎重になる（薬局）
- お薬カード（全国で出している）があれば安心になる
- 準備がいる
- 備蓄は病院にはない（入院患者用）

Ｎｏ．２　災害時難病支援プロジェクト　２００５．１１．２８　１９：００～　患者班

・ 災害時の薬局の対応→文書を渡してあるが、読んでいるかどうか？
・ 三重県薬剤師→９５％間違いなければ薬を渡して欲しい
・ インスリン→通いなれていないルートとなる（何処にあるかもわからない）
・ 通常のルートがベスト→医師の処方箋
・ 日赤の救護班はインスリンを持っているか？→持っていない

○ ５日間くらいを目安として
○ キットを持っていなければ高血糖に調整する
○ 食事とインスリンは必ず必要

・ エネルギーを使わないように寝ている
・ 薬はＲ，Ｎ（即効型と遅効型）
・ すこしは勉強するといい
・ 医療⇔薬局（薬局でもらえるように処方箋は医師なら書く）
・ 薬剤師（特例以外は強く禁止している）→抵抗がある
・ 救護班は処方箋を出せる
・ 病院がダメだと薬局もダメ

１．通常通りが一番いい
２．自己ＰＲできるものを持っておく
３．災害時には大丈夫だというオスミツキ